

## （６）村民アンケート調査及び転入者・転出者アンケート調査の概要

### １）村民アンケート調査結果の概要

#### ①調査の目的

「第５次宜野座村総合計画（前期基本計画）」（平成 29 年 3 月）及び「宜野座村総合戦略」（平成 28 年 3 月）の計画期間が満了となることから、次期計画の策定にあたり、むらづくり全般に関する村民の意向や村民の暮らしの状況、ニーズ等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

#### ②対象者

村内在住の 16 歳以上の世帯員がいる全世帯を対象に実施

#### ③調査方法

配布－各区事務所（区長・班長）の協力による配布

回収－各区事務所・村役場に設置したアンケート回収箱、または郵送による回収

#### ④調査期間

令和 2 年 8 月 14 日（金）～令和 2 年 8 月 31 日（月）

#### ⑤回収状況

配布数	回収数	有効回収率
2,324 件	674 件	29.0%

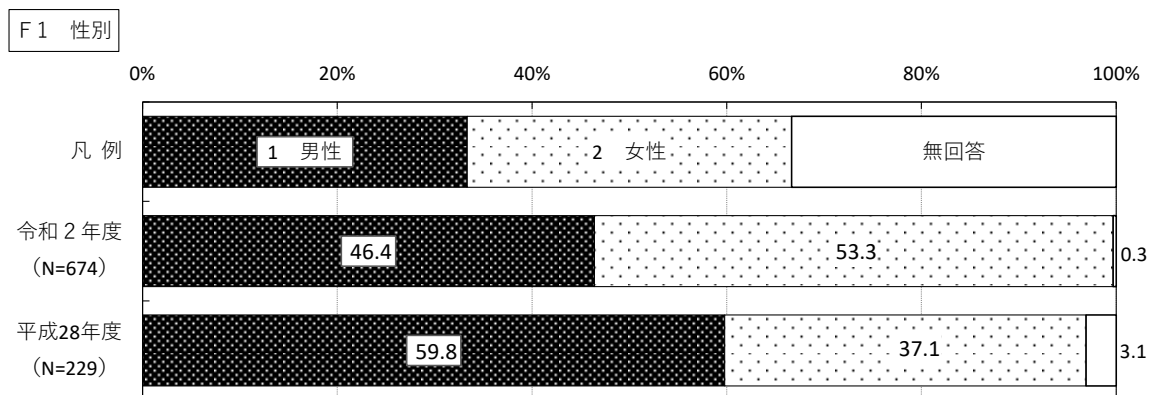
※アンケート調査のサンプル数の増加、区長会での説明・協力依頼、PR（村広報誌、LINE、防災無線での呼びかけ）、返信方法の工夫（郵便による回収の追加）等により、前回（平成 27 年、11.3%）よりも回収率が向上した。

※統計学上の必要サンプル数335件を上回り、十分なアンケート調査の精度を得ている。

## <回答者の属性>

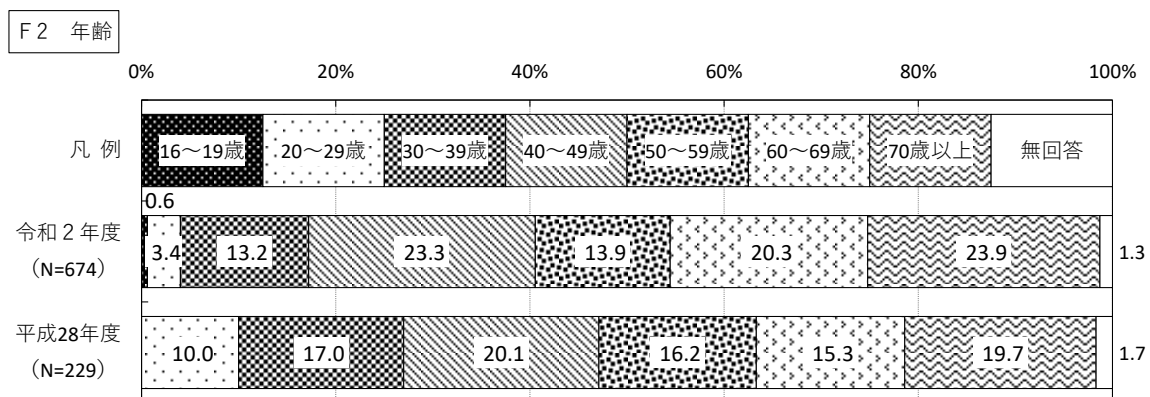
### F 1 回答者の性別

女性の回答率がやや高い。



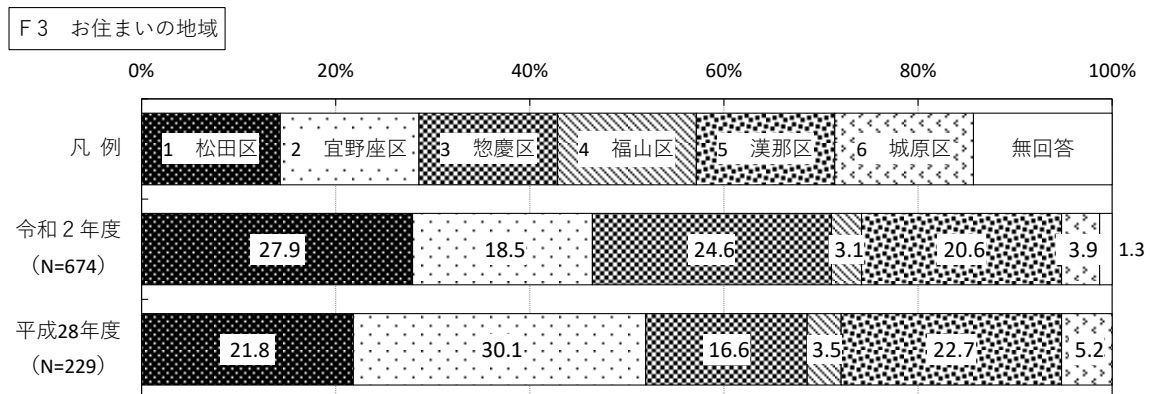
### F 2 回答者の年齢

40代、60歳以上の回答率が高く、20代以下の若年世代の回答率が低い。



### F 3 回答者の居住地区

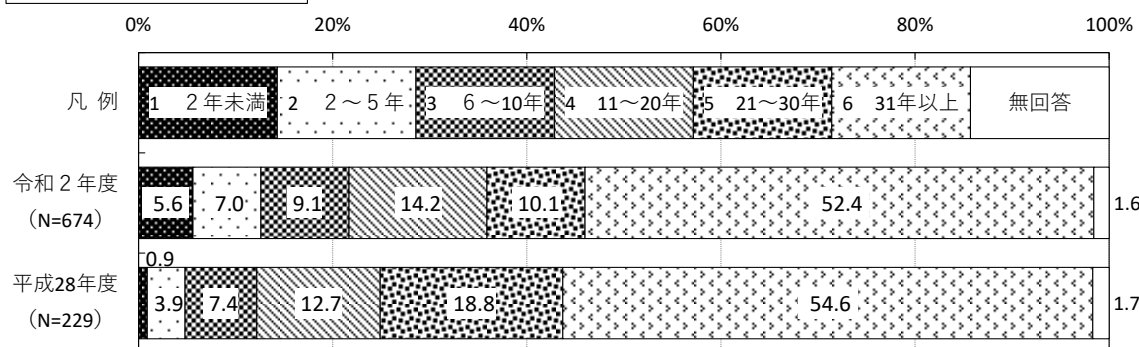
回答者の居住地区別の割合は、実際の居住地区の割合とほぼ同様である。



## F 4 回答者の居住年数

「31 年以上」が約過半数を占め、長く住んでいる回答者の割合が高い。

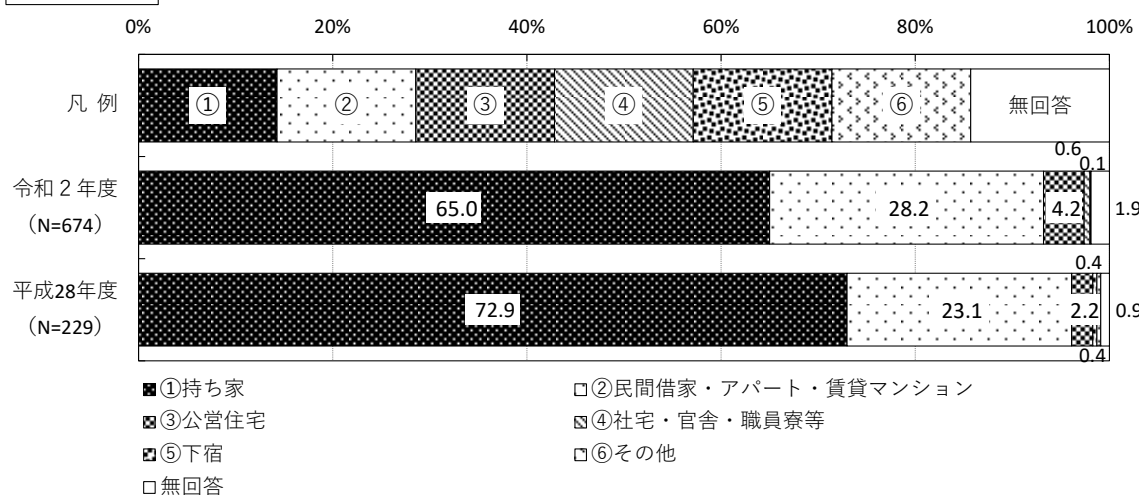
F 4 宜野座村内での居住年数



## F 6 回答者の居住形態

「持ち家」が6割強を占めて高く、次いで「賃貸アパート等」が3割弱となっている。

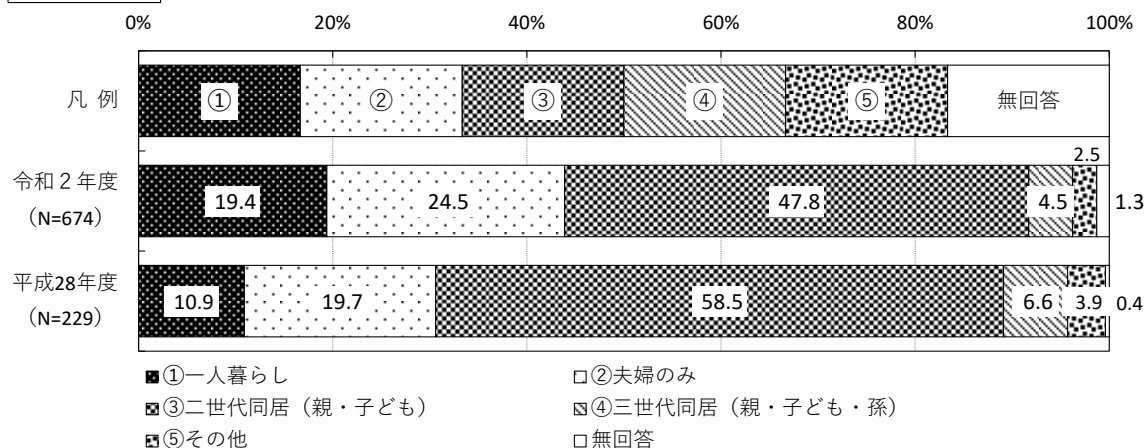
F 6 居住形態



## F 7 回答者の家族構成

「二世世代同居」が5割弱と最も高い。前回調査と比較すると「一人暮らし」が増加。

F 7 家族構成

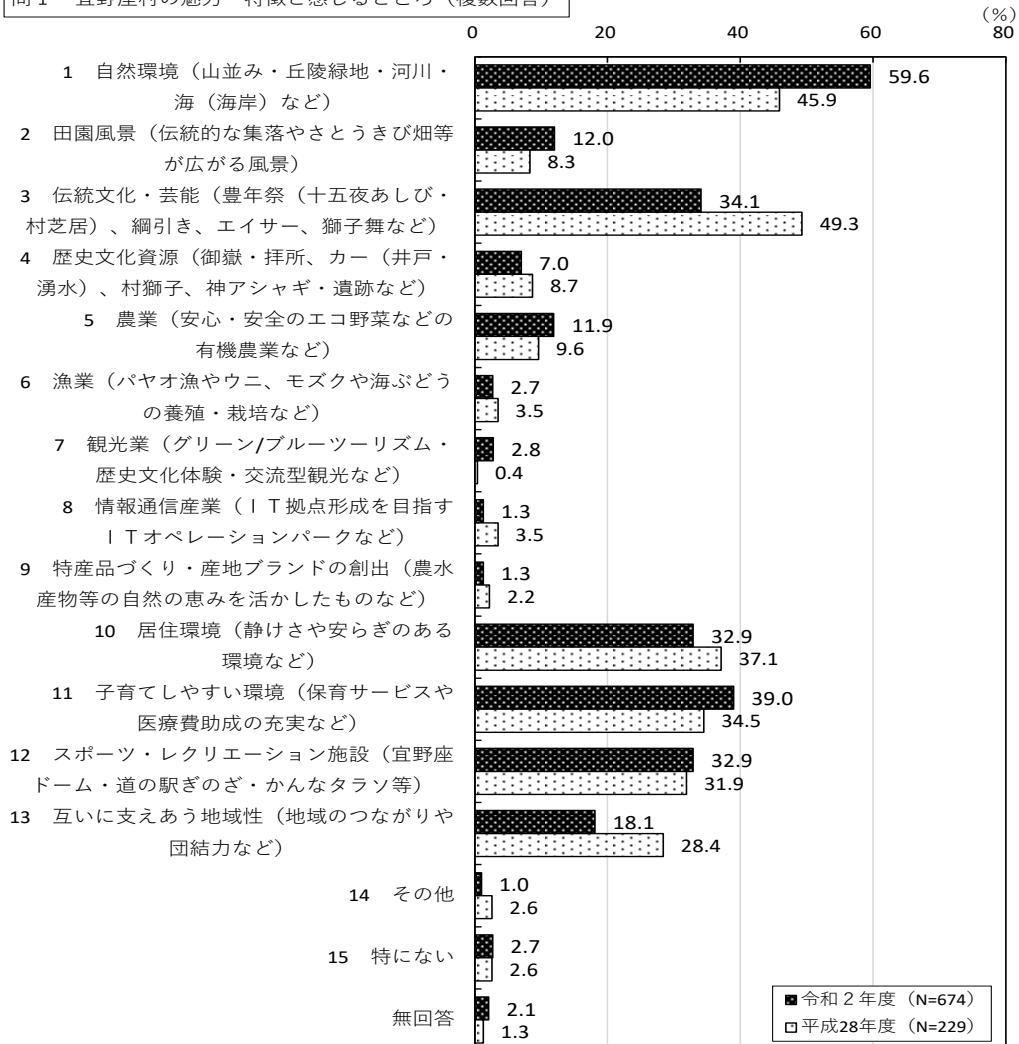


## <宜野座村の魅力・特徴について>

### 問1 宜野座村の魅力・特徴と感ずるところ

「自然環境」が6割弱と最も高く、次いで「子育てしやすい環境」、「伝統文化・芸能」となっている。

問1 宜野座村の魅力・特徴と感ずるところ（複数回答）

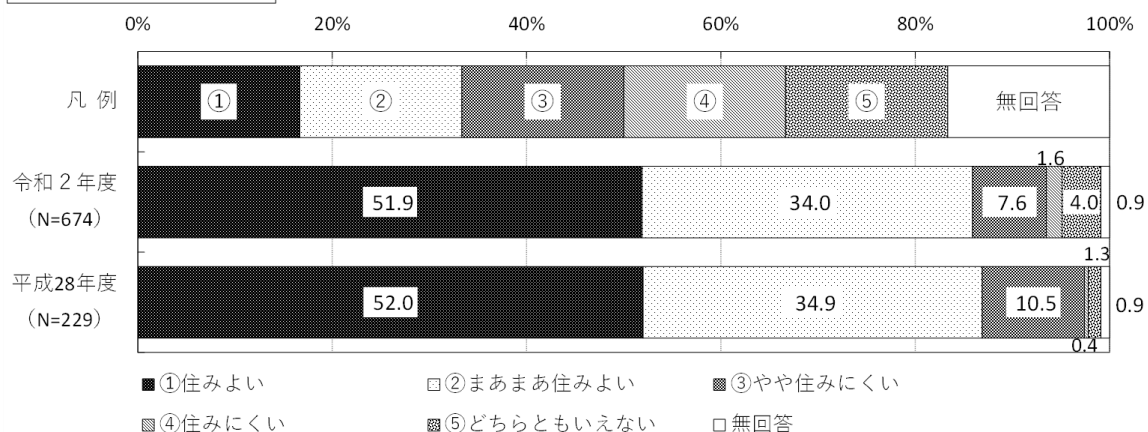


## <宜野座村の住みよさについて>

### 問2 宜野座村の住み心地

前回同様、『住みよい』（「住みよい」＋「まあまあ住みよい」）が9割弱を占める。

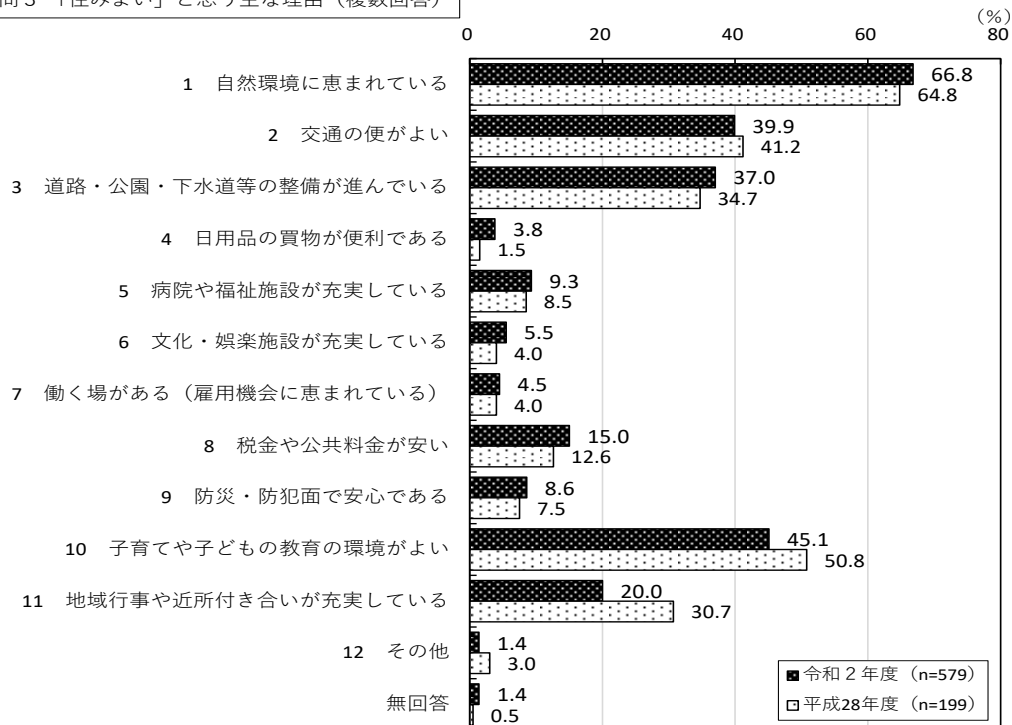
問2 宜野座村の住み心地



### 問3 宜野座村が住みやすい理由

前回同様、「自然環境に恵まれている」、「子育て環境・教育環境がよい」、「交通の便がよい」「道路公園等の生活基盤が整っている」の割合が高い。

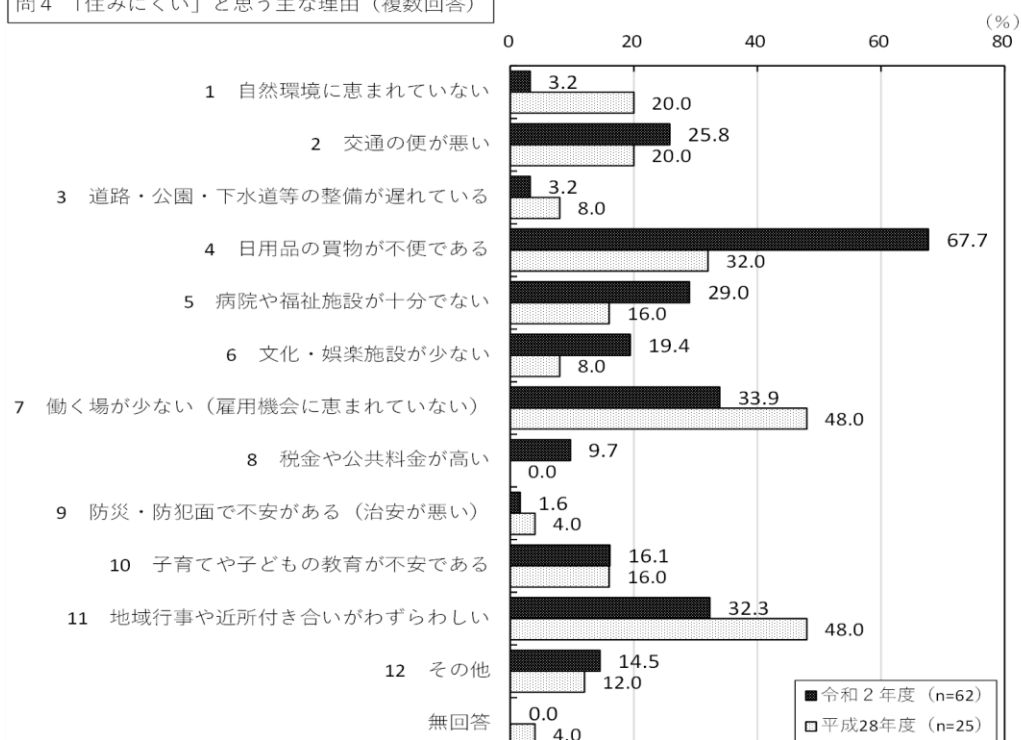
問3 「住みよい」と思う主な理由（複数回答）



### 問4 宜野座村が住みにくい理由

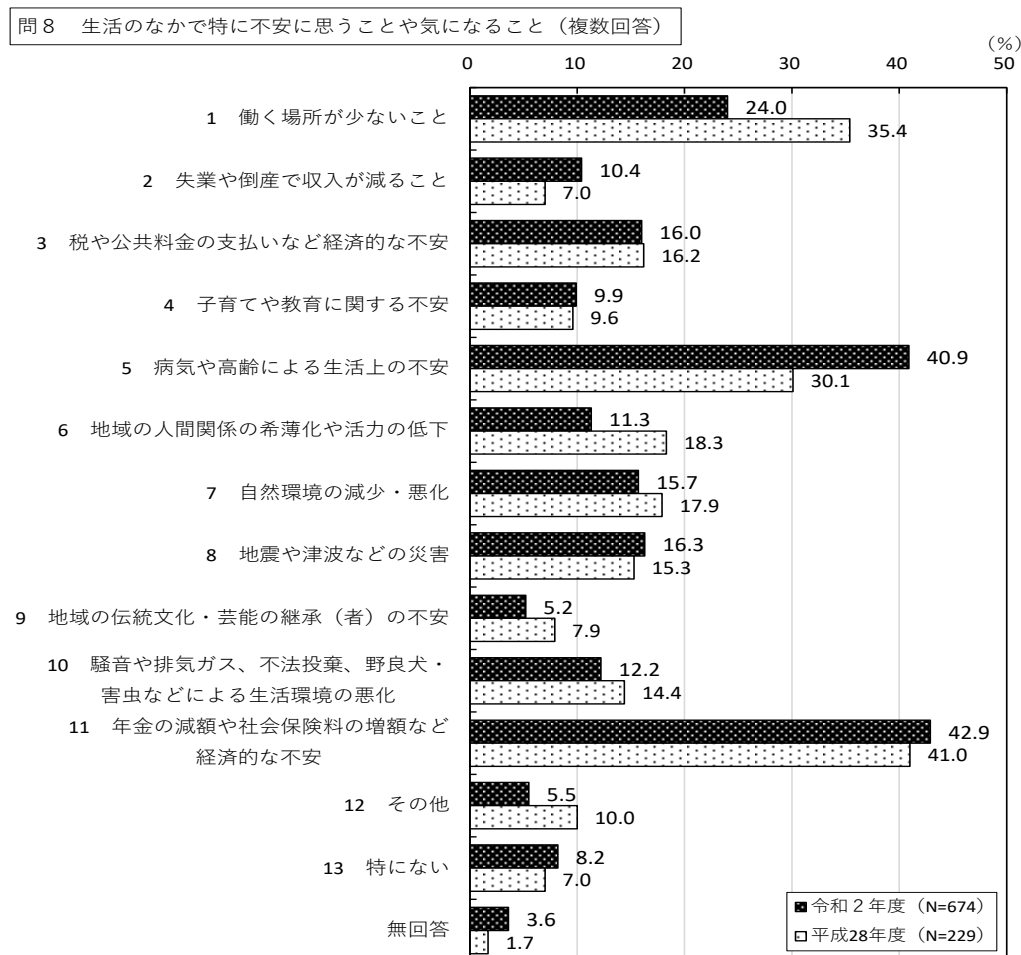
「日用品の買物が不便である」が7割弱と最も高く、次いで「働く場が少ない」、「地域行事や近所付き合いがわずらわしい」、「病院や福祉施設が十分でない」となっている。

問4 「住みにくい」と思う主な理由（複数回答）



## 問8 生活のなかの不安や気になること

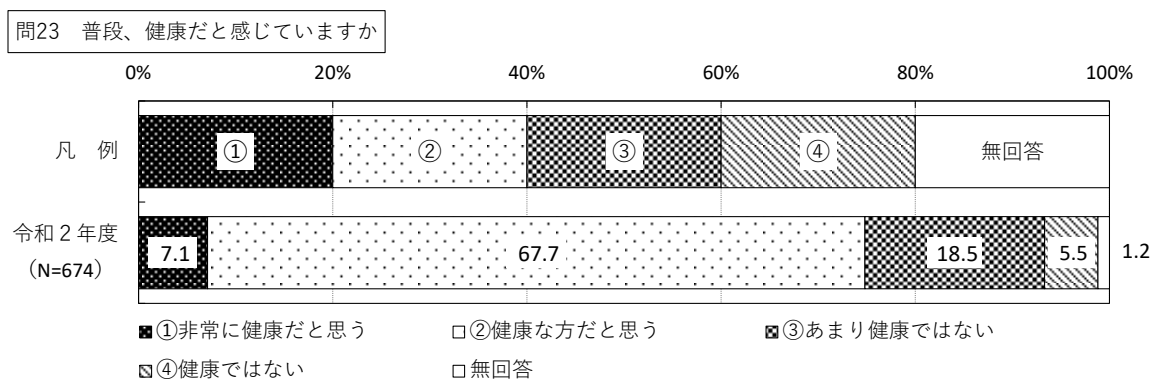
「年金の減額や社会保険料の増額など経済的な不安」、「病気や高齢による生活不安」が約4割～4割強と高く、回答者の4割は老後や社会保障に不安を感じている。「働く場所が少ないこと」も2割強と高い。



## <あなたの健康について>

### 問23 普段、健康だと感じているか

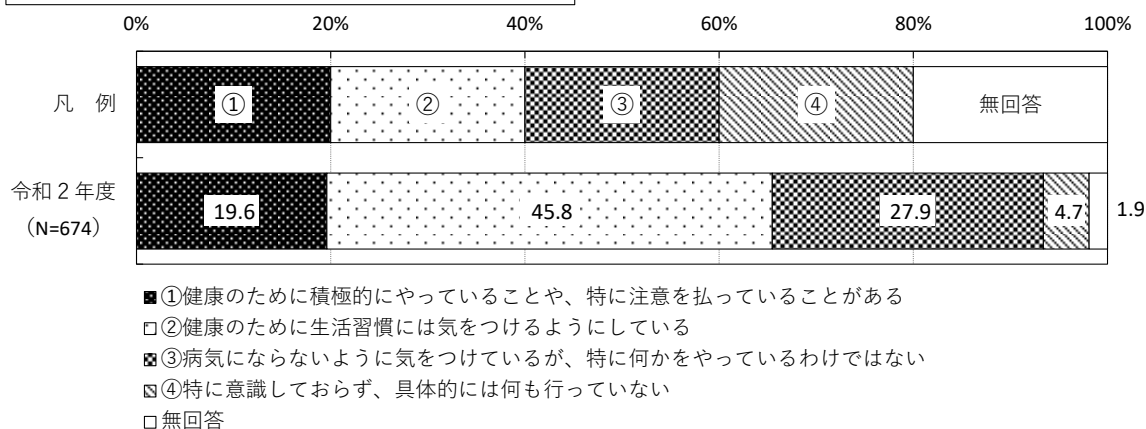
普段から『健康』（「非常に健康だと思う」＋「健康な方だと思う」）と感じている方が7割強、『健康ではない』（「健康ではない」＋「あまり健康ではない」）が2割強となっている。



## 問 25 普段から健康に気をつけているか

『健康に気をつけて何か行動している方』（「健康のために積極的にやっていることや、特に注意を払っていることがある」＋「健康のために生活習慣には気をつけるようにしている」）が7割弱を占める。

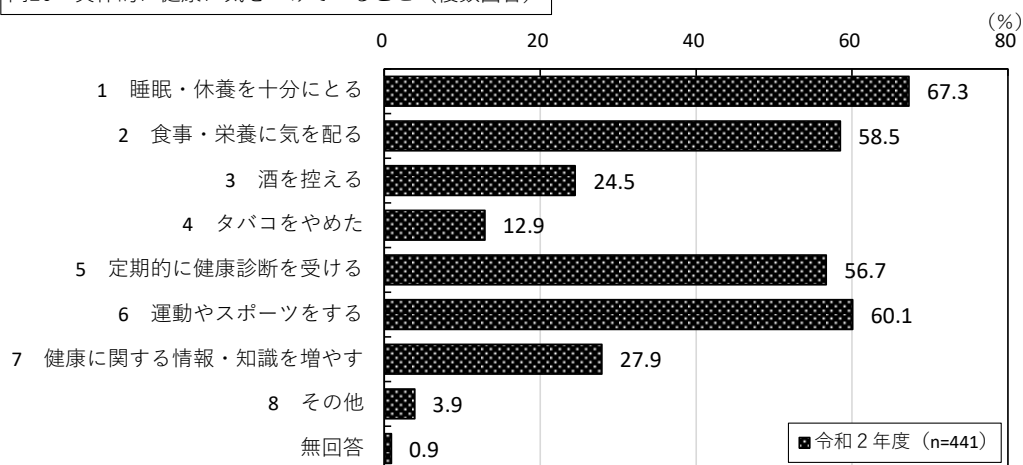
問25 普段から健康に気をつけるように意識していますか



## 問 26 具体的に健康に気をつけていること

前問の『健康に気をつけて何か行動している方』のうち、具体的な行動として「睡眠・休養」、「運動」、「食事」に加え、「定期的な健康診断」と回答した方が5割を超えて高い。

問26 具体的に健康に気をつけていること（複数回答）

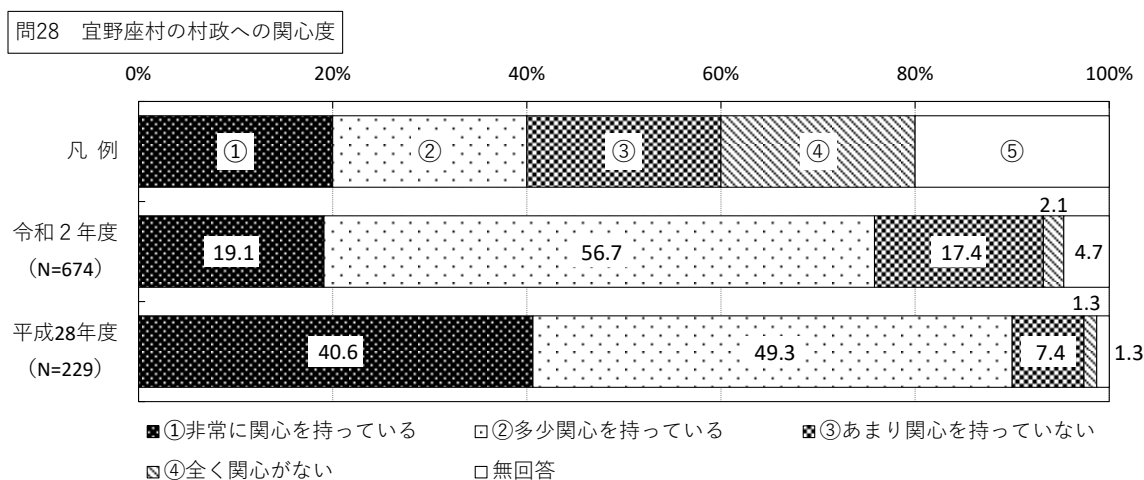


## <村政への関心について>

### 問 28 宜野座村の村政への関心度

村政に『(「非常に」+「多少」) 関心を持っている』が8割弱を占める。

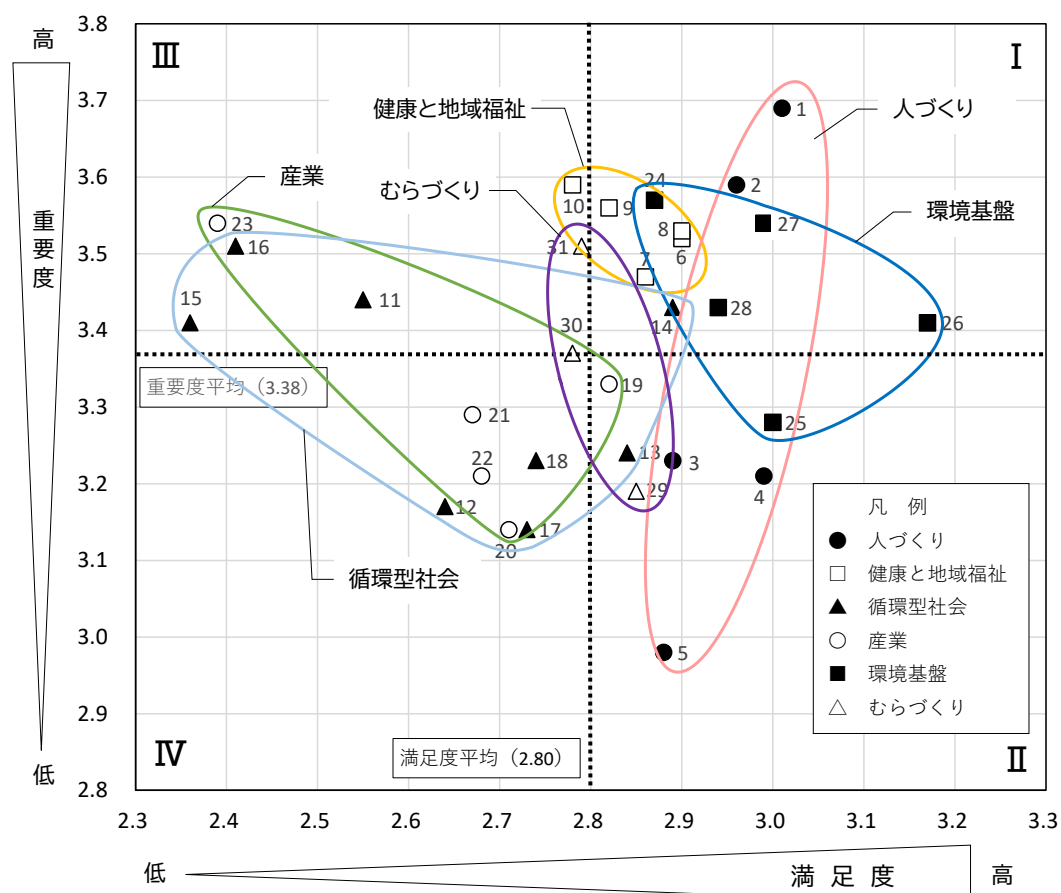
20～30代の若い世代は村政に『関心を持っている』が7割弱とやや低くなる。



## <宜野座村のむらづくり施策の評価や期待について>

### 問 30 むらづくり施策の満足度と重要度の評価

“人づくり”、“環境基盤づくり”の分野の項目で満足度が高い。一方、“循環型社会づくり”、“産業づくり”の分野で満足度が低い。

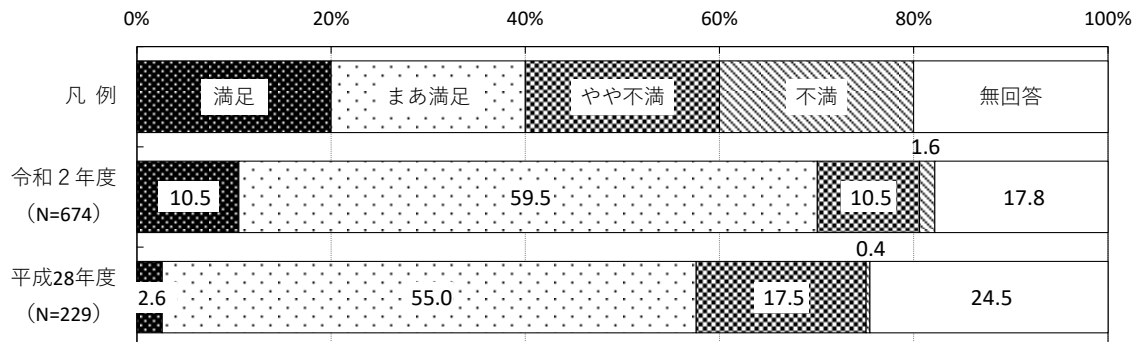




## 問 30 むらづくりの総合的な満足度

「満足」＋「まあ満足」が7割を占め、前回調査より満足度がやや上昇している。

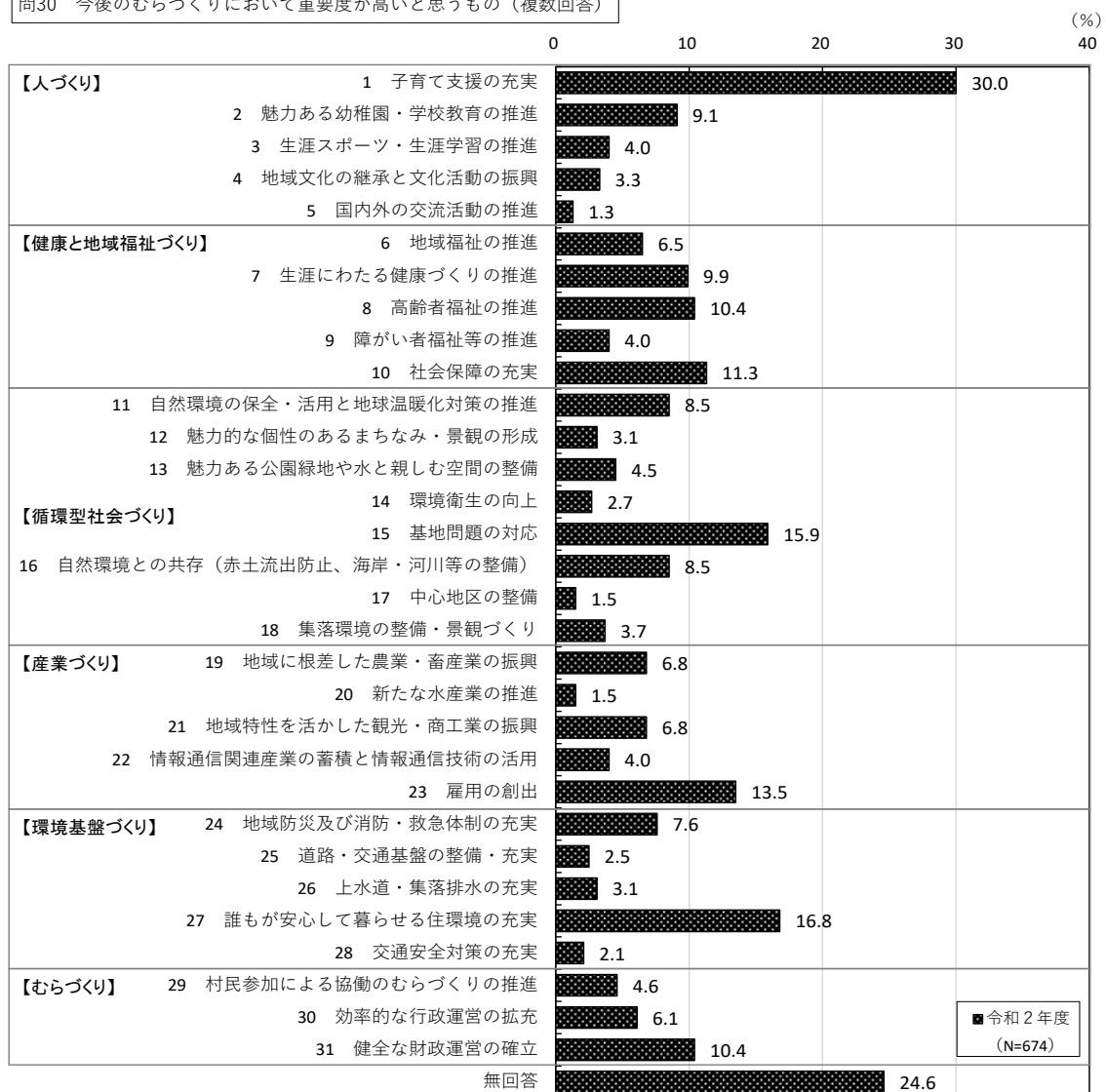
問30 宜野座村のむらづくりの総合的な満足度



## 問 30 今後のむらづくりにおいて重要度の高い施策

「子育て支援」が3割を占めて最も高く、次いで「住環境の充実」、「基地問題の対応」、「雇用の創出」と続いている。

問30 今後のむらづくりにおいて重要度が高いと思うもの（複数回答）



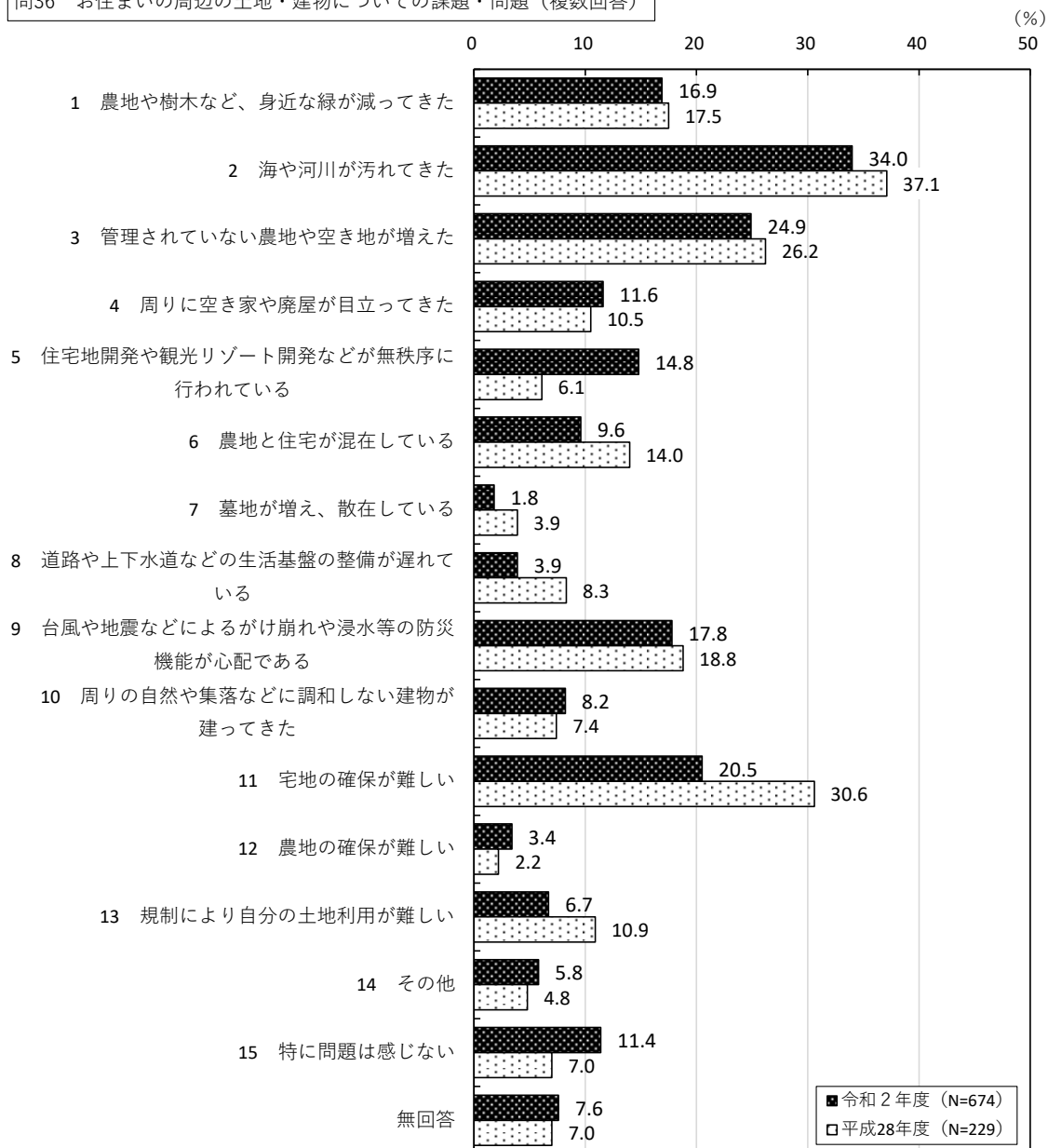
## <宜野座村の土地利用について>

### 問 36 土地・建物についての課題・問題

「海や河川が汚れてきた」が3割強と最も高く、「管理されていない農地や空き地が増えた」、「宅地の確保が難しい」と続いている。

前回調査と比べると、上位5つの項目は変わらない。「宅地の確保が難しい」が減少している一方、「住宅開発や観光リゾート開発などが無秩序に行われている」が増加している。

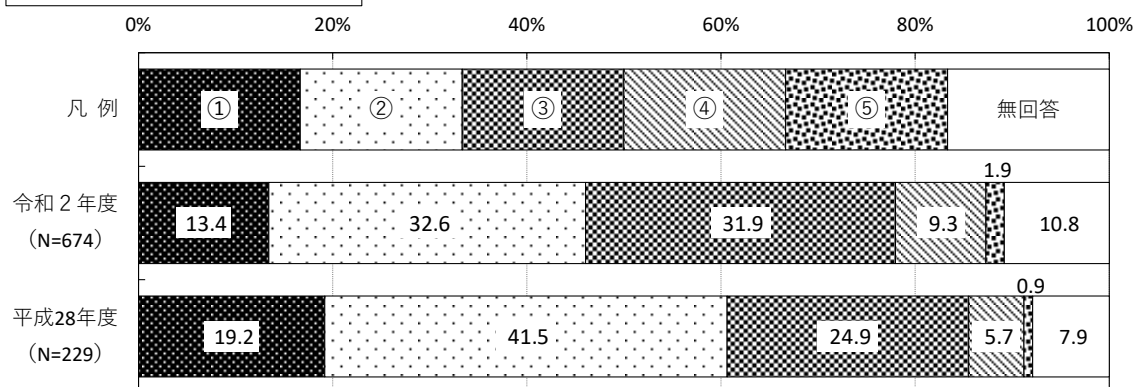
問36 お住まいの周辺の土地・建物についての課題・問題（複数回答）



### 問 38 軍用地の返還に関する考え方

「軍用地料に代わる収入が少しでも得られる跡地利用であれば、近い将来に返還して欲しい」、「軍用地料に代わる同等の収入が得られないのであれば、当分の間は返還されなくてもよい」がいずれも 3 割強となっている。

問38 軍用地の返還に関する考え方



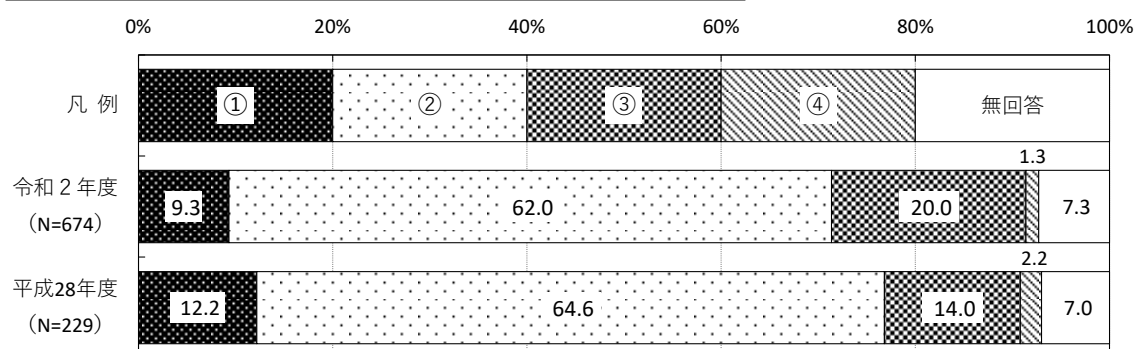
- ①軍用地の返還を実現することが大切である
- ②軍用地料に代わる収入が少しでも得られる跡地利用であれば、近い将来に返還してほしい
- ③軍用地料に代わる同等の収入が得られないのであれば、当分の間は返還されなくてもよい
- ④平和維持のためには、どうしても軍用地が必要であるため、返還を望まない
- ⑤その他
- 無回答

### <今後のむらづくりについて>

#### 問 41 むらづくりでの村民と行政のあるべき関係

「村民と行政が一体で進める」が 6 割強を占める。前回調査と比べると、「村民の協力を得ながら、行政主導でむらづくりを進める」割合が若干高い。

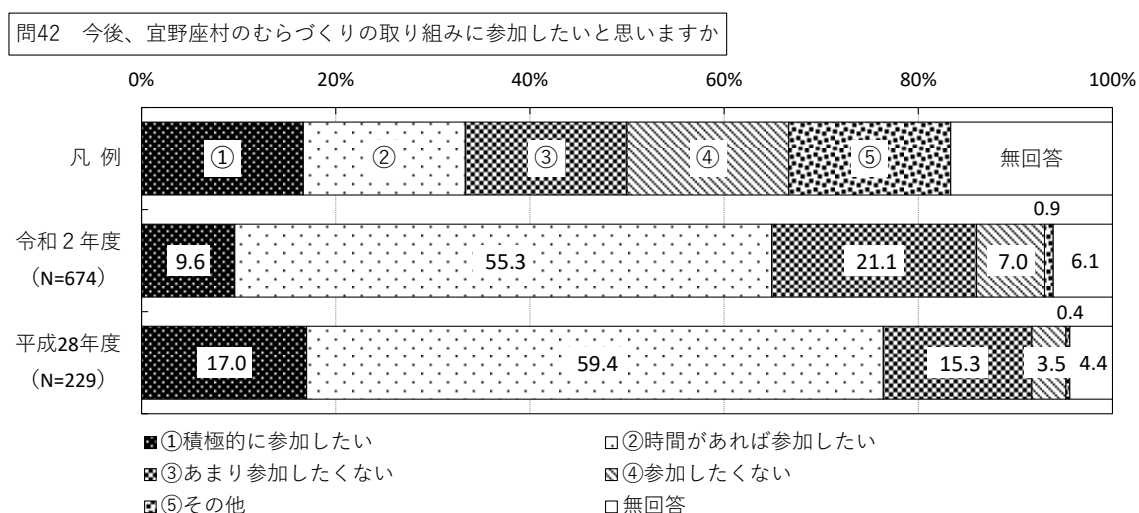
問41 宜野座村のむらづくりを進めていく上での村民と行政のあるべき関係



- ①行政の支援を受けながら、村民主導でむらづくりを進める
- ②村民と行政が協力しながら、一体となってむらづくりを進める
- ③村民の協力を得ながら、行政主導でむらづくりを進める
- ④行政が積極的に進めればよく、村民は特に関与しない
- 無回答

## 問 42 むらづくりの取り組みへの参加意向

『参加したい』（「積極的に参加したい」＋「時間があれば参加したい」）が6割強、『参加したくない』（「あまり参加したくない」＋「参加したくない」）が3割弱となっている。前回調査と比べると、『参加したい』が減少している。



## <むらづくりに関する自由意見>

### 【むらづくり】

- ・急速な発展は望まない。静かな村を維持して欲しい。
- ・村民の多くから色々な意見をもらって、むらづくりに努めて欲しい。村民の意見を聞く機会をつくって欲しい。
- ・宜野座村公式 LINE の情報配信はとても素晴らしく、大変感謝しています。
- ・これからの本村の未来づくりに行政と村民の協働のむらづくりをするためには村民の声、或いは各区の行政委員会の意見等も踏まえて検討してもらいたい。
- ・全ての人が幸せだと思う“福祉の村”づくりを目指して欲しい。
- ・宜野座村の未来を企画するには安全でのびのびと子どもたちが遊んで学べる環境づくりをよろしくお願いします。

### 【住環境】

- ・災害に強い村にして欲しい。
- ・スーパーなどの買物施設の充実。
- ・公園づくり等は新しいものをつくるのではなく、今ある場所を生かし、子どもから老人の健康づくりを兼ねた安全な場所づくりをして欲しいです。
- ・村民一体となり、コロナ終息に向けて対策を強化していけたらと思います。

### 【教育・福祉】

- ・老人クラブの皆さんが生き生きと楽しく幸せに暮らしている姿は宜野座村の自慢の光景です。老人パワーを活用できる場はないか。
- ・在宅で看護・介護が実施できるための事業や、障がい者と高齢者、保育が一貫して実施できる環境が必要だと思います。
- ・妊婦さんや産後のママさん、シングルの方のサポート、情報提供が必要。毎年同じ講座、教室ばかりなので、もっと参加対象者にどのような講座や教室、サービスを必要としているかアンケートをとった方が良いと思う。
- ・子育て支援に関して、すばらしく進んでいると思います。
- ・宜野座高校を魅力ある充実した学校として継続できるように、村行政の支援が必要だと思います。

### 【地域コミュニティ】

- ・知らない方でも挨拶、話しかけてもらえるので地域の方に助けられています。
- ・区の輪番制の当番が強制的で、地域のつながりは大切だと思うが、子育てや共働き世帯で多忙の中、高齢者の集まりの支援を月1回することは不可能に近い。若い世代の負担を軽減してもらえるとより住みやすい地域になるのではないか。

### 【産業・雇用】

- ・「水と緑と太陽の里」をキャッチフレーズに海と緑の自然の豊かさ、伝統・文化・住民の優しいおもてなしを発揮し、体験型の観光立村を希望します。
- ・若者たちが安心安全に働く場が少ない。企業誘致や農業産業（6次産業を含む）、IT、リゾート産業を拡大して雇用の場を増やしてもらいたい。
- ・他村に比べて特産品が活発に行われていないように感じる。

### 【緑化・環境美化】

- ・四季の花の咲き誇る美しい宜野座村になって欲しい。
- ・どこの地域にも負けない環境美化を意識した村づくりを第一に考えて欲しい。

## 2) 転入者・転出者アンケート調査結果の概要

### ①調査の目的

転入者・転出者世帯に対し、転入・転出の理由、転入先として宜野座村を選択した理由や宜野座村の住みよさ等に関する意見をうかがい、「第2期宜野座村総合戦略」の策定に係る基礎資料として活用することを目的とする。

### ②対象者

平成30年1月から令和元年12月にかけて、宜野座村へ転入または宜野座村から転出された世帯主全員

### ③調査方法

郵送による配布・回収

### ④調査期間

令和2年10月1日（木）～令和2年10月23日（金）

### ⑤回収状況

#### 転入者アンケート

配布数	回収数	有効回収率
337 件	97 件	28.8%

#### 転出者アンケート

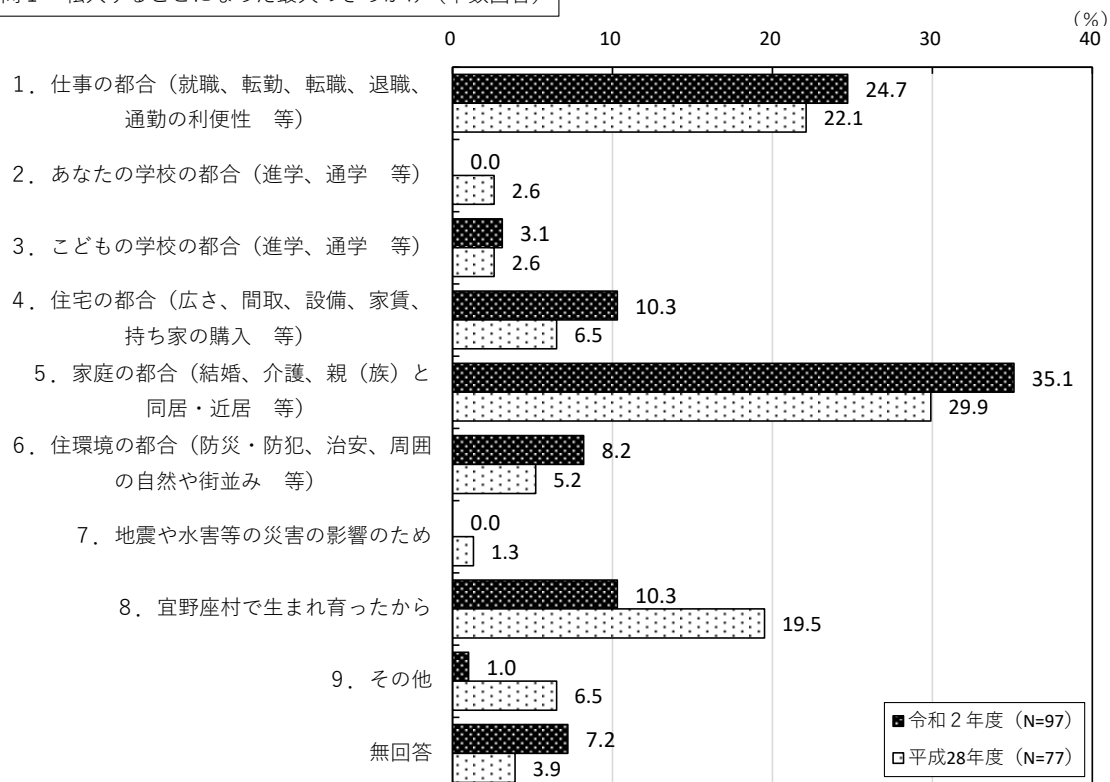
配布数	回収数	有効回収率
280 件	79 件	28.2%

## <転入・転出理由について>

### <転入>問1 転入の最大のきっかけ

「家庭の都合」が3割強と最も高く、次いで「仕事の都合」となっている。

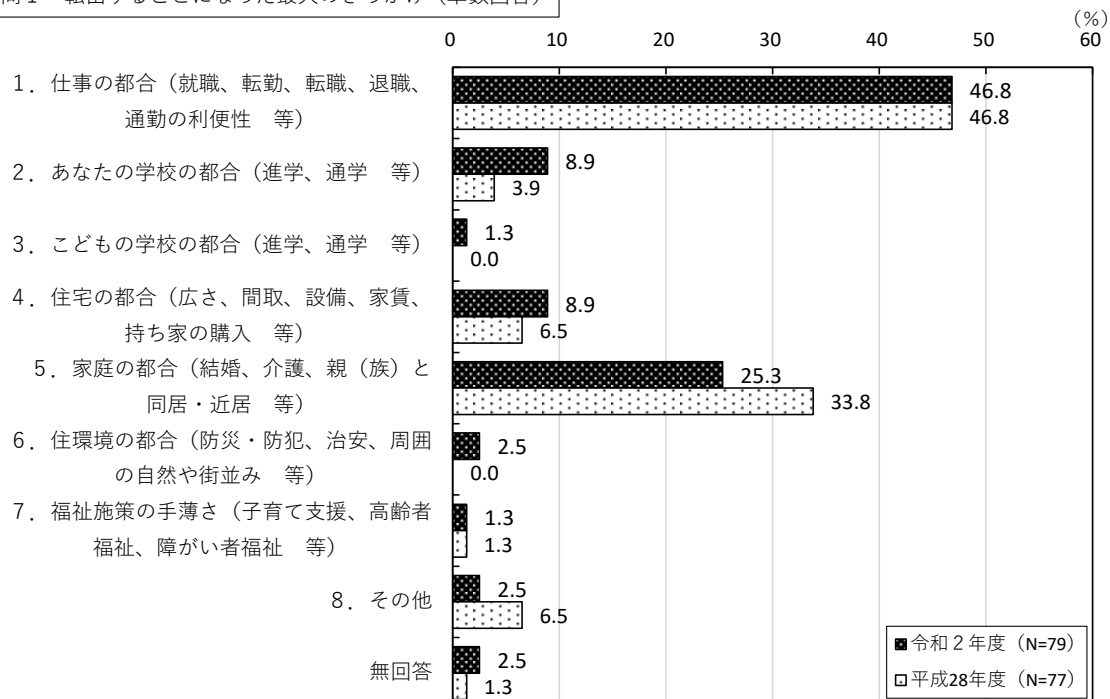
問1 転入することになった最大のきっかけ（単数回答）



### <転出>問1 転出の最大のきっかけ

「仕事の都合」が5割弱と最も高く、次いで「家庭の都合」となっている。

問1 転出することになった最大のきっかけ（単数回答）

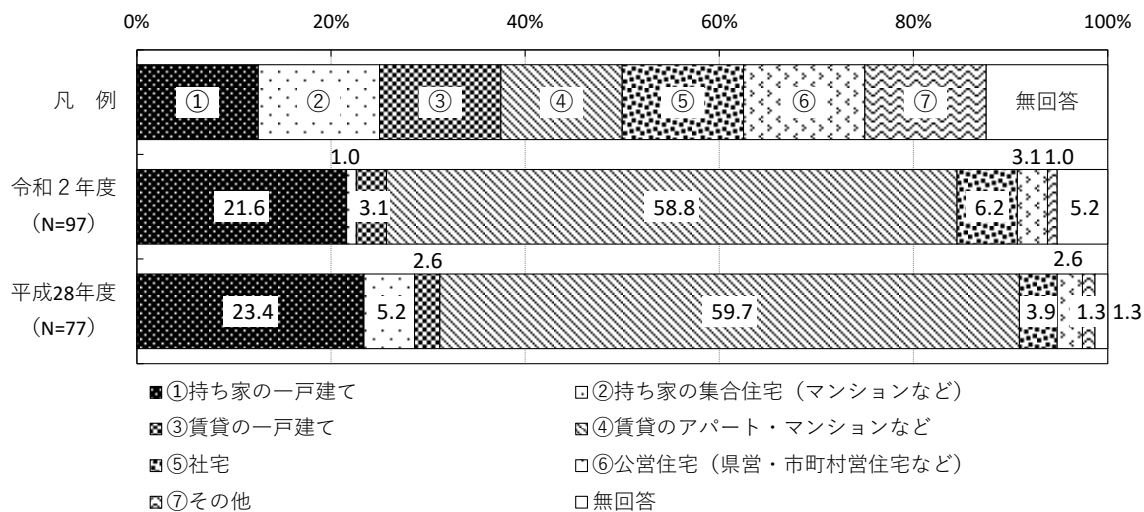


## <転入・転出前後の住まいについて>

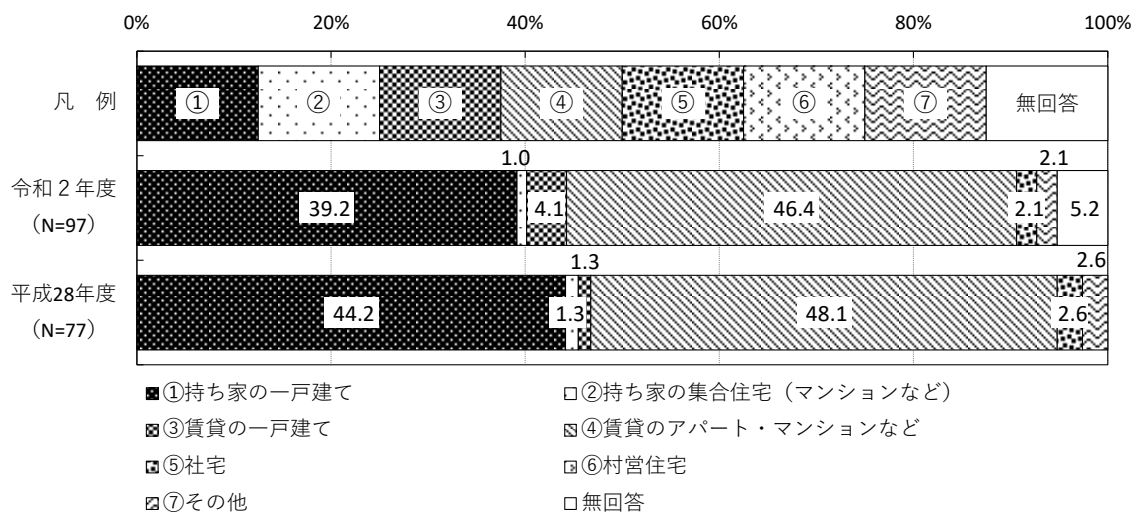
### <転入>問2・問3 転入前および現在の居住形態

転入後に「持ち家の一戸建て」の割合が高くなっている。

問2 転入前の住居形態



問3 現在の住居形態

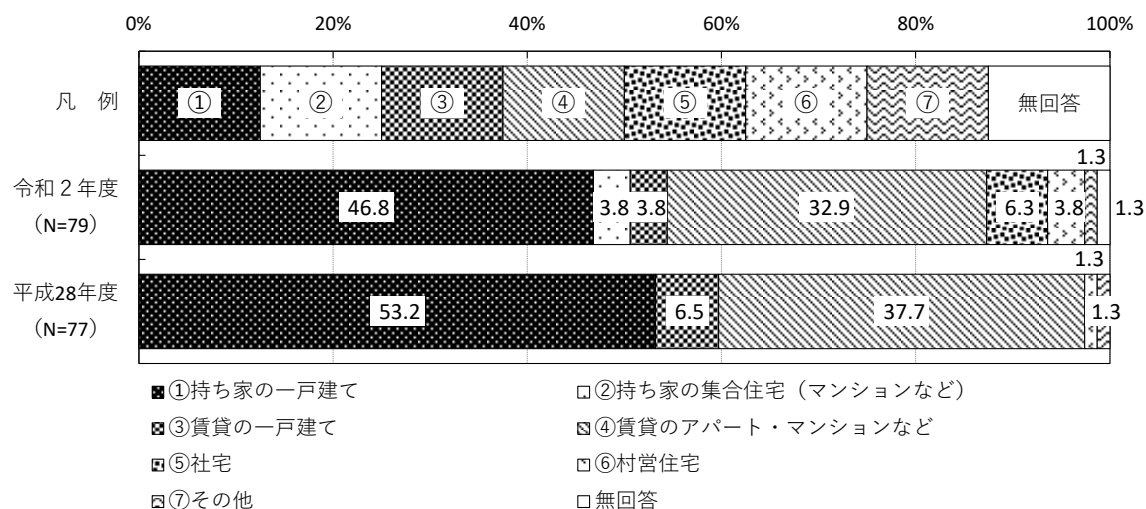




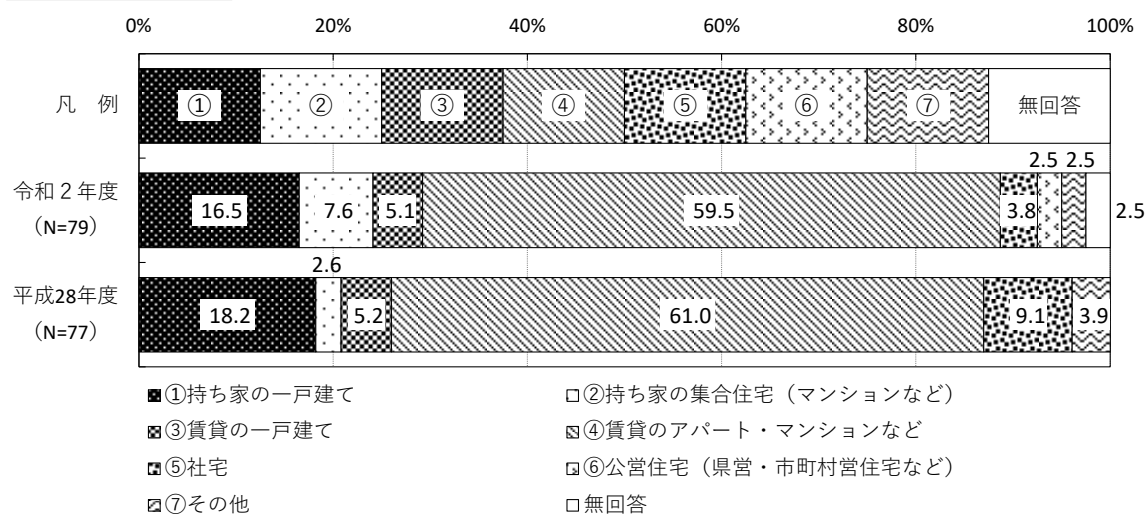
## <転出>問2・問3 転出前および現在の居住形態

転出後に「賃貸のアパート・マンションなど」の割合が高くなっている。

問2 転出前の住居形態



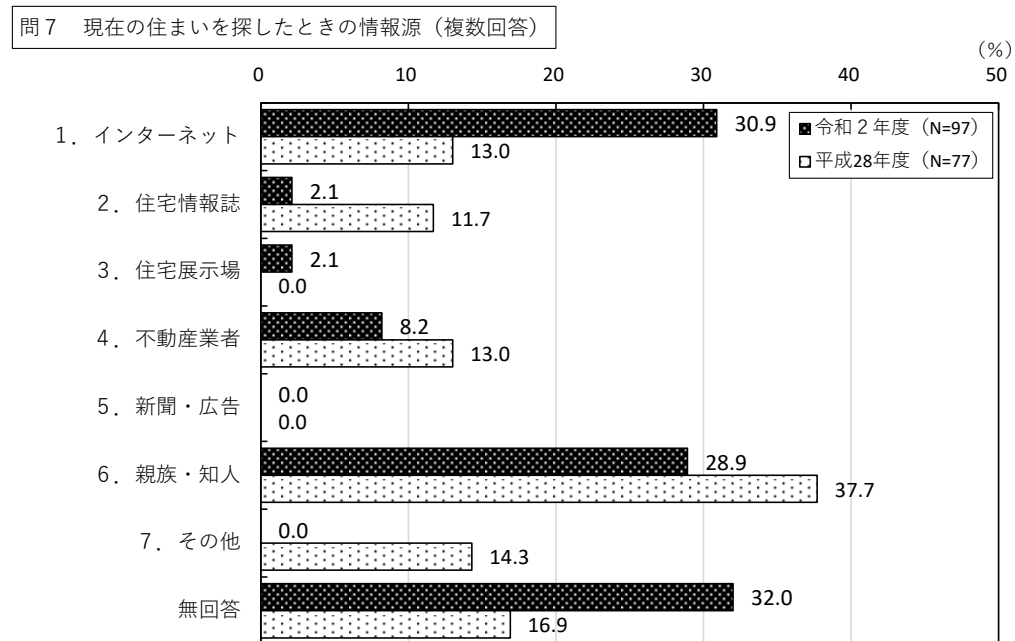
問3 現在の住居形態



## <住まい探しについて>

### <転入>問7 現在の住まい探したときの情報源

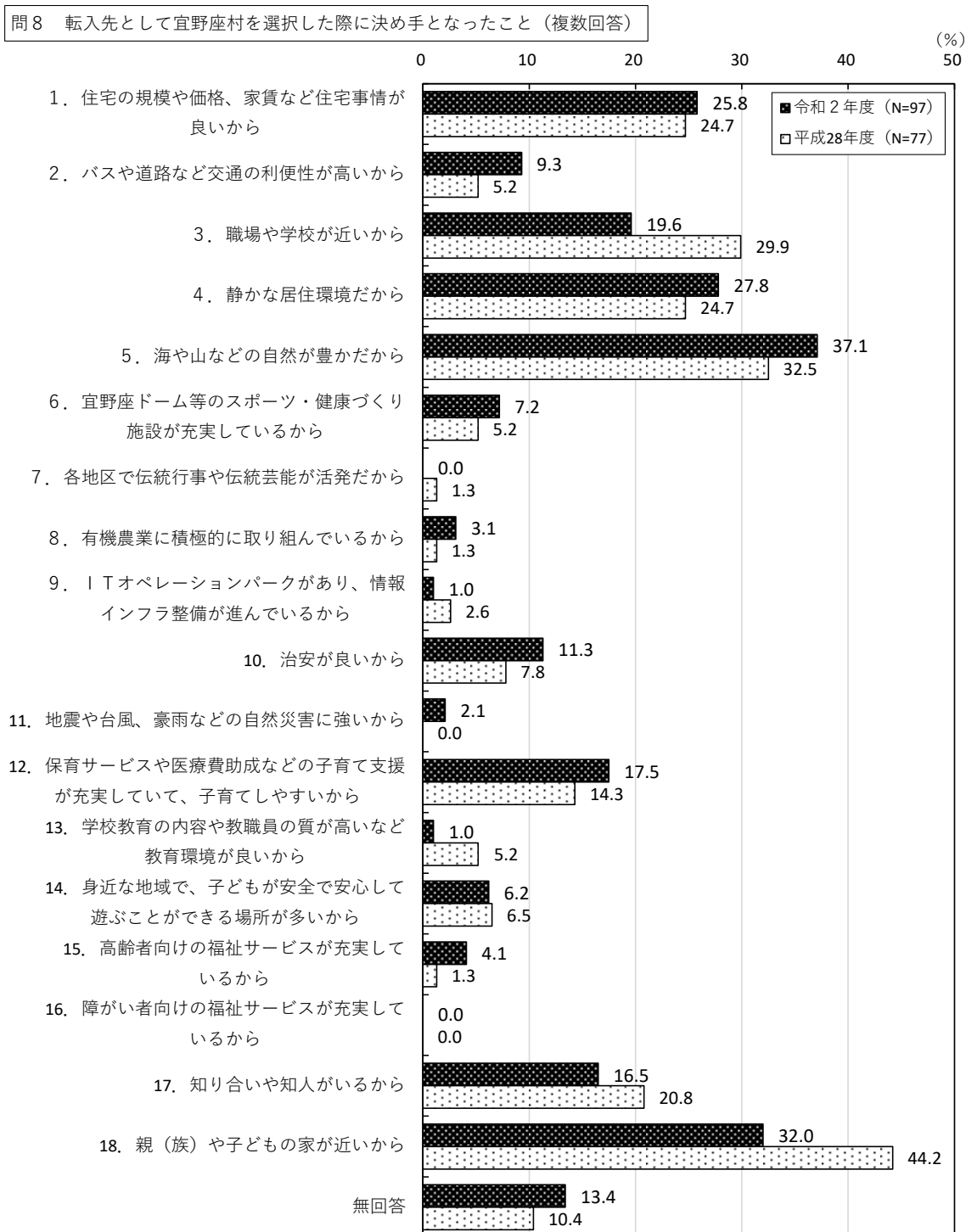
「インターネット」が約3割と最も高く、次いで「親族・知人」となっている。前回調査と比べると、「インターネット」と回答した割合がかなり増加している。



## <転入先の選択について>

### <転入>問8 宜野座村を選択した決め手

「海や山などの自然が豊かだから」が4割弱と最も高い。以下、「親（族）や子どもの家が近いから」、「静かな居住環境だから」、「住宅の規模や価格、家賃など住宅事情が良いから」と続いている。

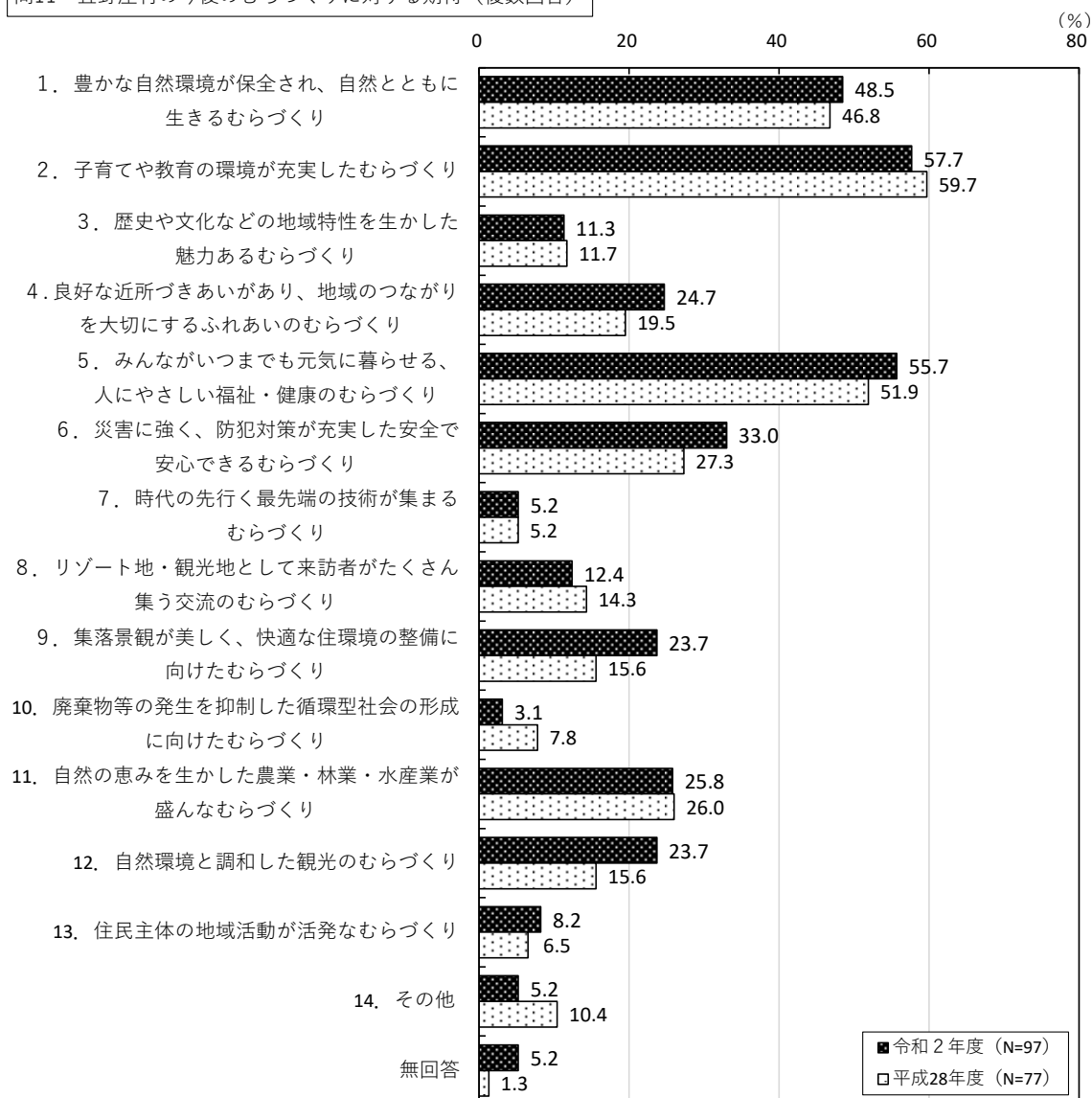


## <むらづくりへの期待について>

### <転入>問 11 むらづくりに期待すること

「子育てや教育の環境が充実したむらづくり」が6割弱と最も高く、次いで「みんながいつまでも元気に暮らせる、人にやさしい福祉・健康づくりのむらづくり」、「豊かな自然環境が保全され、自然とともに生きるむらづくり」と続いている。前回調査でもこの3項目が上位であった。

問11 宜野座村の今後のむらづくりに対する期待（複数回答）

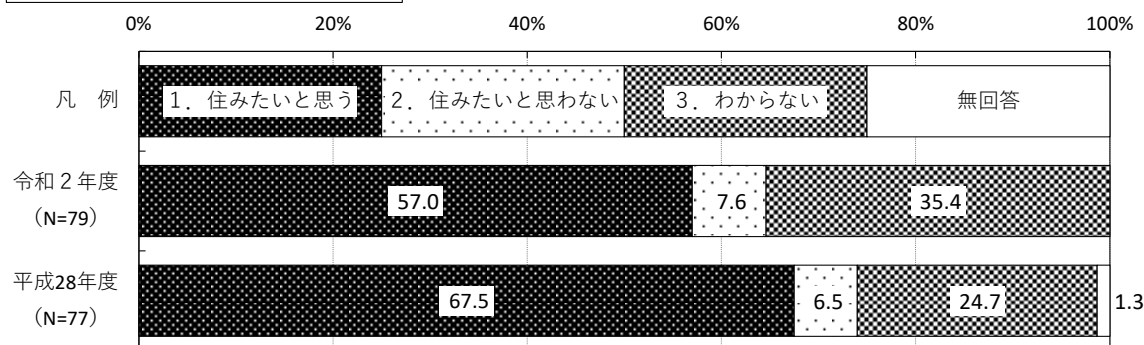


## <今後の居住意向について>

### <転出>問8 また宜野座村に住みたいと思うか

「住みたいと思う」が6割弱を占め、逆に「住みたいと思わない」は1割弱にとどまる。前回調査と比べると、「住みたいと思う」割合が減少している。

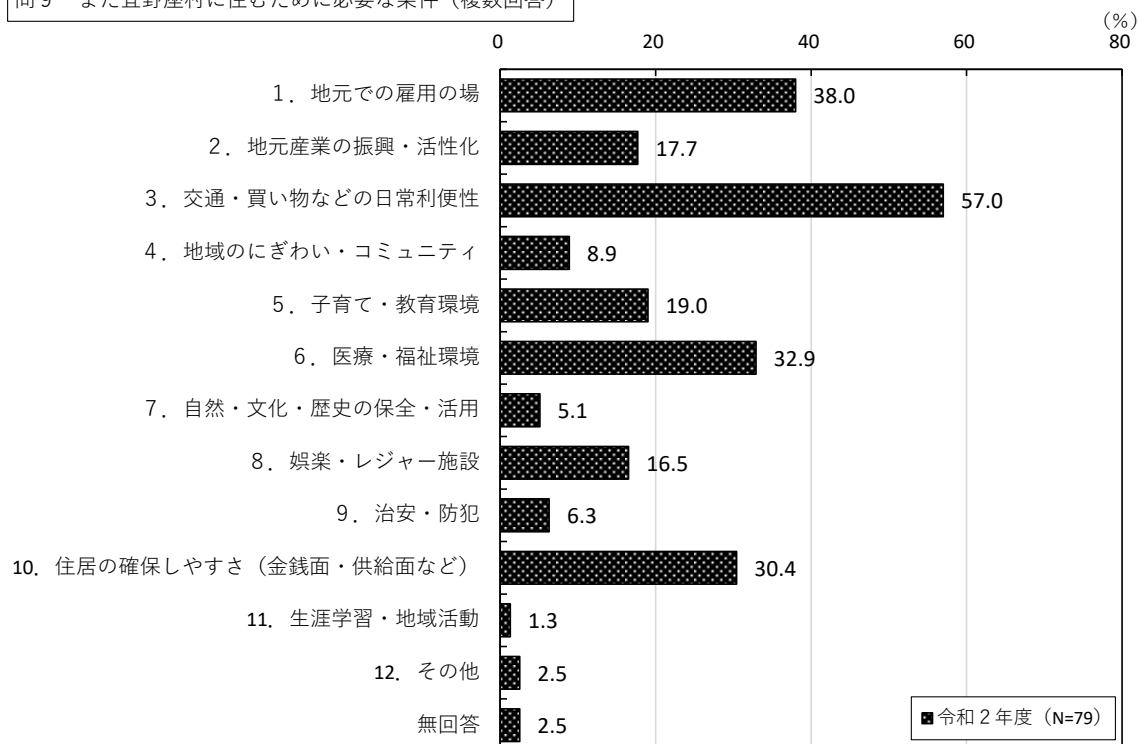
問8 また宜野座村に住みたいと思うか



### <転出>問9 また宜野座村に住むために必要な条件

「交通・買い物などの日常利便性」が6割弱と最も高く、以下、「地元での雇用の場」、「医療・福祉環境」、「住居の確保しやすさ」と続いている。

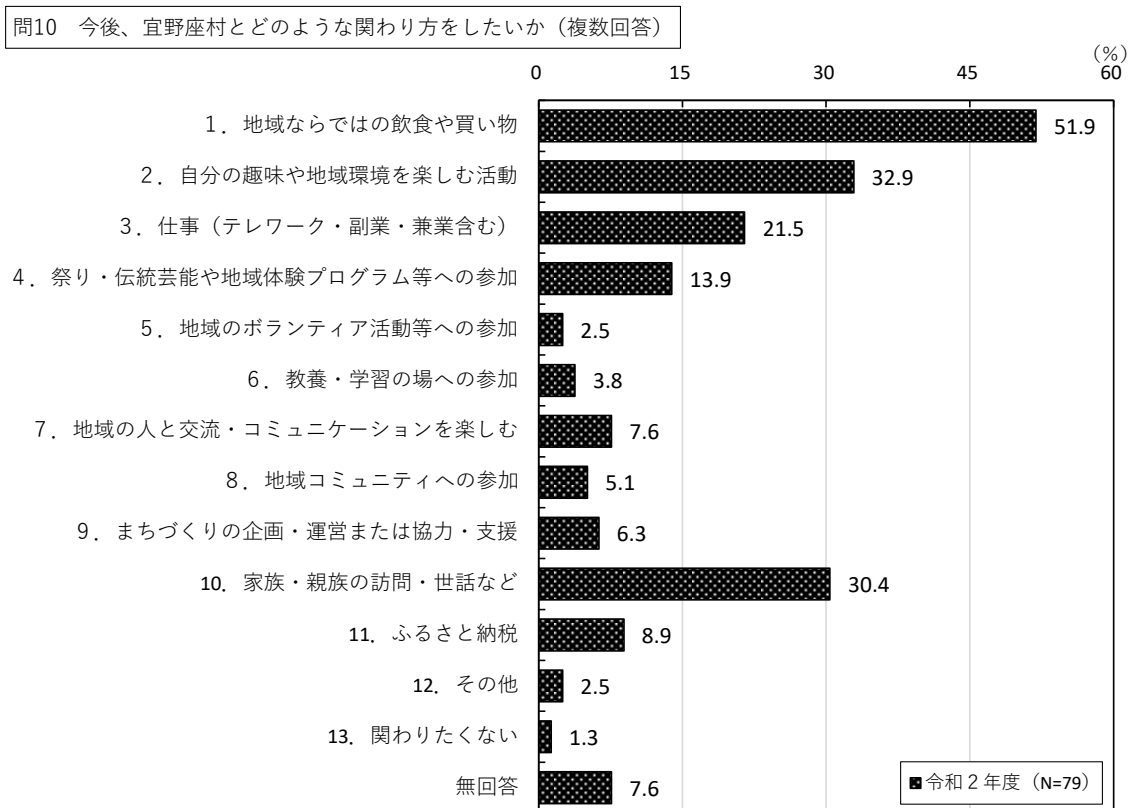
問9 また宜野座村に住むために必要な条件（複数回答）



## <今後の村との関わり方について>

### <転出>問 10 今後の宜野座村との関わり方

「地域ならではの飲食や買い物」が5割強と最も高い。以下、「自分の趣味や地域環境を楽しむ活動」、「家族・親族の訪問・世話など」、「仕事（テレワーク・副業・兼業含む）」と続いている。



## ＜宜野座村への意見＞ 《転入》

### 【住環境】

- ・災害（台風・豪雨）に弱い部分があると思うので改善して欲しい。
- ・米軍の騒音に悩まされない安全な暮らしを求めます。
- ・大型のアパートが急増して、高校まで暮らしていた故里の景色がなくなっている。
- ・公共 wi-fi の充実
- ・静かで商業施設・観光施設等がほぼ無いことが最大の魅力なので、観光開発によって自然が今以上に減ってしまわないよう、強く希望します。

### 【観光・産業】

- ・身近にとっても素晴らしい自然があるけれど、観光地としての整備がなされていないことが残念です。
- ・リゾート開発は程ほどにして欲しい。穴場リゾート的な、知る人ぞ知ると的な感じにとどめて欲しい。
- ・自然豊かなので農業・産業等を伸ばして欲しい。

### 【地域コミュニティ】

- ・知らない方でも挨拶、話しかけてもらえるので地域の方に助けられています。
- ・区の輪番制の当番が強制的で、地域のつながりは大切だと思うが、子育てや共働き世帯で多忙の中、高齢者の集まりの支援を月 1 回することは不可能に近い。若い世代の負担を軽減してもらえるとより住みやすい地域になるのではないか。

### 【教育・福祉・健康】

- ・将来を担う子どもの子育て、教育に力を入れて欲しい。
- ・“自然の中で健康づくりができる宜野座村”を提案したい。

### 【移住・定住促進】

- ・県外または村外出身者の定住促進に力を入れて欲しい。
- ・移住したいが土地が無い。

## ＜宜野座村への意見＞ 《転出》

### 【住環境】

- ・衣食住に加え、安定した雇用や医療が提供されると住みやすい。
- ・健康づくりのサービスが充実していて良かった。
- ・インフラ機能の復旧が遅い。可能であれば、電線類地中化により回避すると良い。

### 【子育て環境・教育】

- ・病院の中に保育園を併設して欲しい。（園児が発熱しても、すぐにお迎えではなく、そこで預かって欲しい。）
- ・松田保育園に子どもが通っていたが、県内外の保育・幼稚園を比べても、あの設備と保育内容は素晴らしいと思う。
- ・子どもたちと親たちの夢や希望の話し合いや、宜野座村の教育プログラムの取り組み支援が足りないと感じます。

### 【名産品のPR】

- ・嫁ぐまでは宜野座村を訪れたことも無かったのですが、実際に住んでみると海はきれいだし、村独自の名産品も美味しいものばかりで素晴らしい所でした。もっと名産品をアピール出来る場をつくって宜野座村を盛り上げて下さい。

### 【その他】

- ・他の村に住んでみて、宜野座村に比べると地域活動等が全然無くて、交流も少なくて寂しく感じます。仕事面では少し不便だけど、人の温かさ、ゆいまーる精神はどこの市町村にも負けていないと離れて強く思います。
- ・がらまんホールでのコンサートの企画等、素晴らしいと思います。